

講演会データ解析システム:アプリ起動・準備ガイド

動画をご視聴いただきありがとうございます！ R および RStudio のインストールが完了したら、本ガイドに沿ってアプリの初回セットアップと起動を行ってください。

💡 インストールがまだの方へ R および RStudio のダウンロード・インストール手順は、解説動画（00:06～01:36）で詳しく実演しています。

1. プログラム（ソースコード）を開く

1. RStudio を起動します。
2. 画面左上メニューの File → Open File... を選択します。
3. 配布されたソースコード（Rscript(GNU Ver21.6)20260727.R）を選択して開きます。

2. 必要なパッケージ（部品）のインストール

本アプリを動かすには、R の機能を拡張する「パッケージ」の追加が必要です（初回のみ）。

方法 A：自動インストール（おすすめ）

プログラムを開くと、RStudio が不足しているパッケージを自動検知します。エディタ画面（コードが表示されている上部）に黄色い帯で Package XXX is required but not installed. と表示されたら、右端の [Install] ボタンをクリックしてください。

方法 B：手動インストール（確実な方法）

黄色い帯が出ない場合やエラーになる場合は、以下のコードを一括コピーして実行してください。

1. 画面下部にある「Console（コンソール）」タブをクリックします。
2. 以下のコードをコピー＆ペーストし、Enter キーを押します。

```
R
```

```
# 必要なパッケージを一括でインストールします（数分かかります）
```

```
install.packages(c(
  "shiny", "tidyverse", "quanteda", "Rtsne", "wordcloud",
  "RColorBrewer", "stringr", "dendextend", "ggdendro",
  "gtools", "dplyr", "cluster", "scales", "stopwords",
  "minpack.lm", "plotly", "fastcluster"
))
```

⚠ 注意 途中で Do you want to install from sources the package which needs compilation? (Yes/no/cancel) と聞かれた場合は、no と入力して Enter を押してください。

3. アプリの起動と基本操作

1. パッケージの導入が完了したら（コンソールの処理が止まり、先頭に > が表示された状態）、エディタ画面右上にある [Run App]（緑色の矢印アイコン）をクリックします。
2. 画面に「講演要旨の t-SNE クラスタリングとトレンド分析システム」が表示されたら起動成功です！
3. 左側メニューから解析対象のデータファイル（例：new_coordinate_with_clusters.xlsx 等）を読み込みます。
4. [分析を実行] ボタンをクリックすると、マップ描画や各種分析が始まります。

4. エラーが出たときの対処法

「Run App」を押した際にエラーが発生する場合、多くはパッケージの未導入が原因です。

- エラーメッセージに there is no package called ‘〇〇’ と表示された場合：コンソールに以下のように入力して Enter を押し、該当パッケージを個別インストールしてください。

R

```
install.packages("〇〇")
```

(参考) 今回導入される主要パッケージの役割

本アプリでは、高度な自然言語処理やインタラクティブな可視化を行うために以下の専門パッケージを使用しています。

パッケージ名	主な役割・機能
shiny	ユーザーインターフェース（操作画面）を作成する
tidyverse / dplyr	データの整理や加工を高速に行う
quanteda	講演要旨のテキスト分析・形態素解析を行う
plotly	マップ上のグラフをインタラクティブに操作可能にする
Rtsne	高次元の文章データを2次元マップ上に近く配置（次元削減）する

作成：千波 誠（JACI） / 監修：金谷 教授（NAIST）20260728